

ねらい	自分のあゆみをワークシートに記入する中で、親と自分との関係を振り返り、将来どんな親になりたいかを考える。
準備	5～6人のグループに分けておく。 ワークシート1・2

時間	活動内容	留意点
2分	<b>本時のねらいの確認</b> ◆自分のあゆみを作る中で、親子関係を振り返り、将来どんな親になりたいか考えよう。	◇自分のあゆみ作成のための時間は、個人差があると思われる。事前にワークシートを渡し、できるだけ作成しておくようにする。(聞くことができれば、親からのエピソードも記入する。)
3分	<b>ワークショップ</b> ◆ワークシート1「自分のあゆみ」を読み直し、親の言動や対応について、にこ!ぷん!!マークを付けて、自分の気持ちを振り返る。	◇書きたくないことは無理に書かなくてもよいことや人のワークシートを勝手に見ないことを伝え、安心して記述できるようにする。
5分	◆ワークシート2の「交流」欄に、にこ!ぷん!!エピソードを選んで記入し、グループ交流ができるように準備する。 (にこ) …部活の試合を見に来て、ものすごく大きな声で応援してくれた。 (ぷん) …弟とケンカしたら、兄である僕だけ叱られた。	◇にこ! (嬉しい、楽しい、愉快、感謝などの気持ち) ぷん! (いや、怒り、悔しい、不幸、不愉快などの気持ち) であることを伝える。
25分	◆グループ交流 親への自分の気持ちを振り返りながら、グループで話し合う。	◇時間配分を考え、グループ内で全員に話す機会を与える。 ◇親になることへの希望がもてるような話し合いになるように助言する。 ◇自分の考えを伝えたり、仲間の話をよく聞いたりして、互いに理解している姿を認める。
10分	<b>振り返り</b> ◆交流して、分かったこと・考えが変わったことや、親に「ありがとう」「ごめんなさい」と伝えたいことを記入し、交流する。	◇グループの代表1～2人を指名し、親子で理解し合うことや親子コミュニケーションが大切であることを価値付けて、広めるようにする。
5分	<b>手紙を書く</b> ◆「親になった未来の自分」へ、今の自分からメッセージやアドバイスを伝える。 ・ありがとうやごめんなさいを言わず、反抗ばかりしていたが、親はいつも自分を心配してくれている。子どもの気持ちを理解しようとする親になりたい。 ・ついイライラして、親に八つ当たりをしていた。少しは親の気持ちを思いやるような接し方ができるようにしたい。子がイライラしている時は、怒らないで、落ち着くまで待つことができる親になりたいと思った。	◇いつかは親になる自分に、期待や希望がもてるような手紙を紹介する。

<親になったときに生かしてほしいこと>

親に対して、つい反抗的な態度をとってしまう子どもの気持ちを考えられる(分かる)親であってほしい。自分の感情に走らず、子どもの様子をよく見て状況や状態を把握し、適切な対応ができるように努力してほしい。



交流

自分のあゆみの中から、にこ!ぷん!!エピソードを選んで、グループで交流しましょう。

(^^)・・・にこ

.....

.....

(><)・・・ぷん

.....

◇交流して、分かったこと・考えが変わったことや、親に「ありがとう」・「ごめんなさい」と伝えたいことはありませんでしたか。◇

「分かった！」  
「こうしたい！」

「ありがとう！」  
「ごめんなさい！」

手紙

「親になった未来の自分」へ、今の自分からメッセージやアドバイスを伝えましょう。

親になった未来の自分へ

.....

.....

.....

.....

年 月 日 才の自分より